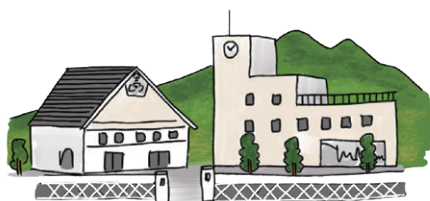


教育のまち、津和野町の これまで と これから

2013年（平成25年）に津和野高校で始まった魅力化の取り組みは、2024年（令和6年）に新しいフェーズに入りました。これまで取り組んできたひとづくりをまちの活性化へとつなげるために、つわの学びみらいがハブとなりこれからも活動していきます。

はじまり

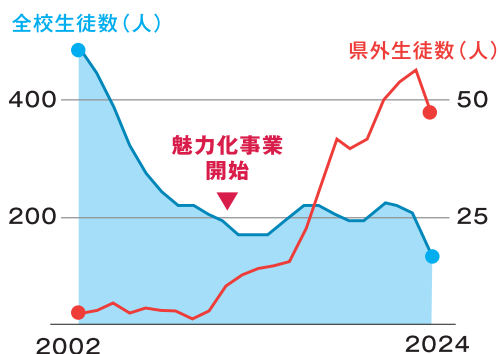
2013



津和野高校統廃合の危機から 高校魅力化事業開始

津和野高校に魅力化コーディネーターを配置し、県外生徒募集活動も開始。地域に密着した「やりたいことができる高校」へ。

津和野高校生徒数の変化



2017年に入学志願者が1.1倍を超える。
地域での学びを活かした総合型選抜で難関大学合格者が出はじめる。

これまで

2018



0歳児からのひとづくり プログラムを策定

教育によるひとづくりを、まちづくりへと発展させる流れを生み出す。

育てたい人材像と3つの力



幼児教育～小中学校にもコーディネーターを配置し、校種を超えたタテのつながりを創出する。
子どもの学びがおとなの学び・成長へとつながる。

これから

2024



津和野町で育った人材が 循環し、新たな価値の創出へ

多様な人が多様なカタチで関わり続けられる、関わり続けたいと思うまちづくりを目指します。

多様な人の交流によるかけ算



企業・団体・大学など多様な組織や人と関わり、協働することがまちの魅力化・活性化へとつながる。
多様な人の交流により起こるかけ算や化学反応が、新たな視点や価値を生む。

「0歳児からのひとづくりプログラム」とは

津和野町の未来を担う人材像「大人になっても自ら学び続ける」ひとづくりを目指しています。津和野町教育ビジョンの基本理念に基づき、0歳児から教育的視点を持った各種施策を行うとともに、保育施設・小学校・中学校・高等学校の校種の壁を超え、系統性のある教育体制の構築を図ることを目的に町が策定しました。



つわの学びみらいが目指すのは

誰もが学び続けられる

誰もがチャレンジできる

そして誰かの成長が誰かの成長を生む

そんな成長が循環するワクワクするまちです。

この小さな町に揃う多様なヒト・モノ・コト

そのすべてを学びの対象として捉え

このまちに住むすべての人に

学ぶチャンスがある環境をつくります。

まち全体が学びの場。

わたしが変わること(ひとづくり)でまちが変わり

まちが変わることで世界が変わることを信じて

私たち自身も変化し、チャレンジし続けます。

「持続可能な津和野町に貢献するため、次の一歩へ。」



一般財団法人つわの学びみらい
代表理事 宮本善行

「人間は直線的に縦に成長していると思いがすが、木の年輪のように、横に皮ずつふくらんだかのように成長していると考えた方がいい。輪切りにしたとすると、いつも芯には子どもの時代が息づいているのだ。」詩人谷川俊太郎さんの言葉で、安野光雅さんが友人の交遊録をまとめた「会えてよかった」に掲載されている一文です(山陰中央新報社明窓)。教育魅力化が始まって10年が経過する中で、まさしく年輪の芯の部分に注力してきました。しかし今、芯に年輪を重ねる時期に入っています。「教育で持続可能な津和野町に貢献する」という目標に向かい新しい段階に入りました。芯の部分を大事に育てつつ、人の還流に貢献するのが弊財団の使命です。折しも津和野高校の普通科改革が行われています。産官学の連携のハブとしてその役目を全うしたいという思いで次の一歩を踏み出します。

令和6年度の活動報告

小学生×中学生×おとな

中学生と地域の大人が企画! つわの@HOMEプロジェクト "放課後さんま"に参画

放課後さんまは、津和野小学校の児童を対象に実施している居場所づくりプロジェクトです。地域の大人と津和野中学生の有志が企画し、宿題をしたり、遊びや料理をしたりと話し合っって運営しています。長期休暇には町外に出かけて川遊びや交流会も行っています。町内のお寺での体験活動や地域の盆踊り大会への出店、津和野高校生との交流など、地域を内と外から体感し、多様な人と関わり合うことで刺激が生まれ、学びの循環が起きています。



高校生も手伝ってみんなでそうめん流し!

同学年だけでなく、異学年の友達や中学生、地域の大人とも積極的に関わられるようになってきたと感じ嬉しく思います。わが子を通して、新たな人たちのつながりが生まれていることにも感謝しています!



津和野地区在住
ながみね あゆむ
長嶺 歩さん
ながみね ゆうせい
長嶺 佑星さん
(小学生)

たくさんの人と関わり、コミュニケーション力が上がりました。普段話さない人とも仲良くなれるのが楽しいです。町の人たちが「行ってらっしゃい!部活頑張ってるね!」など言って下さるので元気がです。



津和野中学生
おはた あおい
大畑 葵さん

小学生～中学生

小中学校に 英語コーディネーターの派遣を開始

中学校における英語力の向上と小～中学校の連携強化のため、今年度から町内の2小学校(津和野・日原)及び2中学校に英語コーディネーターを派遣しています。小学校では週1.5日、中学校では週1日、授業改善やALTとの連携など、先生の負担軽減と課題解決に向けた活動を行いました。次年度は新規に2小学校(青原・木部)への派遣も予定しており、町内のすべての小中学校での活動を通してまち全体での英語力向上を目指します。



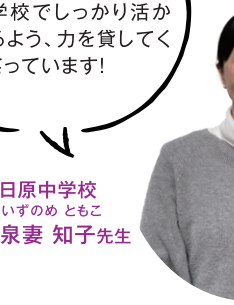
英語コーディネーターと一緒に授業をすることも。

生成AIや動画、歌、ダンスなどを使って、子ども達が楽しく英語を学べるようにアドバイスもらっています。



津和野小学校
こたま なおこ
児玉 奈歩子先生

小学校で学んだことが中学校でしっかり活かせるよう、力を貸してくださいありがとうございます!



日原中学校
いすのめ ともこ
泉妻 知子先生

中学生×おとな

生き方やあり方を考える対話学習 キャリアトーク&sunトーク

今年度津和野中学校では、これまでのツワトークから進化した「キャリアトーク」を、日原中学校では初となる地域の大人との対話学習「sun(サン)トーク」を実施しました。地域の大人の経験や考えを知ることで、地域への愛着を育み、対話を通して生き方モデルと出会い、自身の学校生活やこれからの進路選択、将来の仕事を考えるきっかけとなりました。また自身の生活や思いを振り返って伝えること、共感されることを通して自己理解を深めました。



自身の"これから"を考えるきっかけになりました。

津和野地区在住
こやま ゆうき
小山 結生さん



日原中学生
おきた ゆきの
沖田 友希乃さん

地域の大人との交流は、期待と緊張が入り混じる貴重な体験でした。将来について考える上で、視野を大きく広げることができました。

大人の成功談や失敗談をヒントに、中学生は自分の未来を前向きに想像しています。"楽しく未来を想像する"ことにつながっていると感じます。



津和野中学校
かわかみ やすお
川上 恭生先生

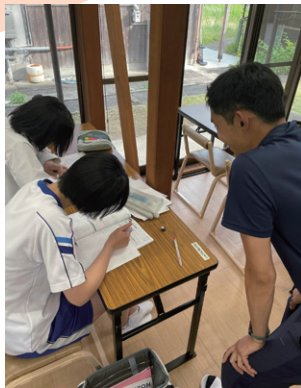
たくさんの"好き"を見つけて今を楽しんでください。可能性は無限です。「自分はこれくらい」と決めつけないで、小さいことでもいいのでどんどんチャレンジしてほしいです。



中学生～高校生

町内の中高生は無料 町営英語塾HAN-KOH

HAN-KOHでは、子どもたちの「自ら学ぶ力」を育てるため、英語を軸とした活動を展開しています。生徒の学習支援はもちろん、英検指導や留学相談、生徒の居場所づくり、外国の文化に触れられるイベント等も開催しています。放課後や長期休暇には小学生対象の英語体験講座を行うなど、発見や刺激を得られる機会を提供しました。



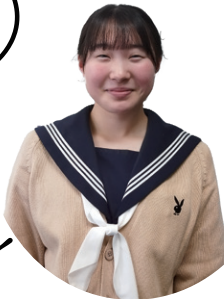
個別の自習サポートも実施。

HAN-KOHでは地域の方と関わる機会が多いため、勉強だけでなく、自分の将来についても考えることができます。



日原中学生
おかざき かほ
岡崎 花穂さん

個別指導で自分にあったペースで教えてくださり、質問にも丁寧に答えてくださるのでもとても充実した学習ができています。



津和野高校生
(津和野町出身)
やまね
山根 しずくさん

高校生×セカイ

津和野から世界とつながる! ツワノセカイ部

令和5年度から、より実践的な活動を通して国際・異文化理解を深めることを目的とした「ツワノセカイ部」が始まりました。北九州への研修旅行や、町内の旅館にご協力いただき、外国人観光客への配膳のお手伝いや観光案内を英語で行っています。また、高校生ならではの視点から、まちの魅力をSNSで世界へ発信するなど、セカイとつながる活動に取り組んでいます。



のれん宿 明月
いけだ りょう
池田 亮さん

当館にご宿泊される外国人観光客のご理解のもと、実際に会話をする経験を通して「英語」だけではなく、多くのことを感じ、学んで欲しいと思います。



津和野高校生
(津和野町出身)
さんがわ だいき
山川 大稀さん

外国の方と交流する中でリスニングが苦手だと気付いたのも、もっと英会話に力を入れて活動していきます。



外国人観光客の方に英語でまち案内。

町営英語塾HAN-KOH
英語実用技能検定(通称:英検)
R6年度の合格実績

高校生 2級: 3名
準2級: 4名
3級: 2名

津和野高校入学者実績

■ R6年度入学者実績
45名(内訳:県内27名/県外18名)
■ R7年度入学予定者数
80名(内訳:県内49名/県外31名)
*定員は80名

子どもからおとなまで

人も地域もつながる謎解きイベント 「日原クエスト」を共催!



チームで協力して地域にまつわるクイズに挑戦。

日原地域にある6つの公民館が連携して企画したイベントとしては初となる「日原クエスト」。参加者が地域の魅力を発見し、地区を超えた多様な世代が交流することで、人と人とのつながりづくりを目指しました。子どもも大人も、お互いが地域の情報を交換する中で深い絆を育み、人とつながることを通して「自分たちのまち」として地域を考えるきっかけとなりました。



日原公民館主事
なかつ みずえ
中田 瑞恵さん

「地区の枠を超えた保護者・子ども同士のつながりづくり」を目的に行いました。スタッフも参加者も主体的に動くことにより絆が生まれていました。

小学生の娘と参加させていただきしました。津和野町にまつわるクイズや体を動かすミッションをチームで達成することで、初対面の保護者さんとも距離が縮まりました。



日原地区在住
かわだ みつこ
川田 光子さん



まち全体が
学びの場

令和7年度 津和野高校は 未来の普通科「未来共創科」になります!

令和7年度から津和野高校は新しい普通科、その名も「未来共創科」となり、津和野高校での学びが広がります。
未来共創科になることで、何が変わるの? そんなギモンにお答えします!



これまで

教科学習

小学校から学んでいる
各教科の学習

探究学習

自分で問い(課題)を設定し、
解決していく学習



これから

情報活用

デジタル技術を活用し
より豊かな人生にする



Q なぜ今、未来共創科に変わるの?

A 変化が激しく、答えのない時代だからです

この先の未来を切り拓いていくには、「自分で考え、解決を目指す力」が必須です。デジタル技術は、今の時代を生きていく上で避けては通れず、それらの技術を使う私たちの「活用力」が求められます。未来共創科では、「未来社会の創造に仲間と協働して主体的に挑戦しようとする人」を育てることを目標に、これまで津和野高校が取り組んできた教科学習、探究学習に加えて、学習を支える「情報を活用した課題解決能力」を育成し、世界で活躍する人材をここ、津和野町で育てます。

Q 卒業後の進路は?

A これまで通り、どんな進路にも対応した学びを提供します

津和野高校では2年生から「総合(進学/就職など幅広く)」「探究(文系大学)」「自然科学(理系大学)」の3つのコースから、希望の進路に合ったコースを選択します。未来共創科になり、情報活用についても学ぶことで、これまでの学習との相乗効果も期待していますが、その力はどの進路に進むにしても、生きていく上で必要な力です。これまで通り、どの進路希望にも対応しますが、情報活用について学んだことがきっかけで、IT系の進路を希望する生徒が出現する可能性もあります。

Q 未来共創科では、具体的にどう学びが広がるの?

A デジタル技術に直接触れる経験を通して、思考や視野の幅を広げていきます

具体的には、情報セキュリティやプレゼンテーション資料の作成方法、データの収集方法や分析方法、AIの使い方、アプリ開発などの技術を学びます。これらの学びを教科学習や探究学習の深化に活用し、課題を解決する力へとつなげます。例えば教科学習ではグラフや図を正しく読み取ったり、課題を見つけ出す力、発表資料の作成や伝え方のスキルアップ等につなげ、探究学習では収集・分析したデータを元にした問いの設定や考察、課題を解決するためのデジタル技術活用(アプリ開発)等、学びの可能性を広げていきます。

Q 「読む力」や「書く力」などの基本的な能力はどう育てるの? デジタルばかりで大丈夫?

A 読み書きやコミュニケーションなどの基本的な力の育成もこれまで通り取り組んでいきます

"デジタル"と聞くと、パソコンの画面を見て、検索して表示されたことをそのまま鵜呑みにするなど、思考を停止し、自分の頭で深く考えなくなってしまうのでは、と危惧される方もいるかもしれません。またパソコンとばかり向き合っていて、コミュニケーション力や、人や社会との関わり方は大丈夫?と心配になるかもしれませんが、ご安心ください。デジタル技術を活用しながら、多様な人との協働や対話を通じて考えることや、自分を知り、どうありたいか、どう社会と関わりたいかを考え、実践する機会を大切にしたい学びを展開していきます。また、デジタル技術は課題解決に必要な"論理的思考"を育てるためにも、とても重要なツールの一つだと考えています。

Q 津和野高校だからこそできる未来共創科の学びは?

A ホンモノの人や環境を活用した、実社会での学びができることです

町内のIT企業と連携し、授業や講座の設計から実施まで、学校と企業が協力しながら進めます。デジタルの現場のホンモノに教わることで、そして取り扱うデータや課題も津和野町や高校の課題解決のためのホンモノを活用し、津和野のまちというフィールドでの実践・検証が可能な環境が一番の強みです。学びの中で町の課題解決に挑戦し、失敗したことを改善してまた実践・検証できるのは、津和野町だからこそです。教員だけでなく、企業やまちの人、行政、大学、つわの学びみらいなど多様な人が関わり、学べるフィールドがあります。



島根県立津和野高等学校

まつだ はじめ

松田 哉 校長先生

本校のスローガンは、『「やってみよう」を「やってみる」、自分らしく、だれかのために』です。まずは、自分のやりたいことを見つけて挑戦してみてください。そして、自分の良さや強みを活かして、社会に貢献できる人に成長してください。



株式会社Nex-E 取締役

くまだ ようこ

熊田 洋子 さん

Nex-Eは、コールセンターと地域のデジタル人材育成事業を行っております。課題を見つけて解決する力や創造力はこれから必要とされるスキルです。

世界で活躍する津和野人の育成を我々も一緒にサポートいたします。

つわの学びサポーターズ募集中です!

「つわの学びサポーターズ」は、津和野町のひとづくり、そしてまちづくりを応援してくれる仲間(サポーター)のことです。毎月一定額(500円~)を継続的にご寄付いただき、津和野町の子どもたちが地域に出て学ぶ際など、私たちの活動に活用させていただきます。令和5年度にスタートし、現在17名(R7.2月末時点)がつわの学びサポーターズとして応援してくださっています。

サポーターズ限定の活動報告会や意見交換会など、みなさんとの交流を通して一緒にワクワクする未来をつくっていききたいと思います!詳しくは右記☺️QRコードよりご覧ください。

一般財団法人つわの学びみらい

〒699-5605 島根県鹿足郡津和野町後田ハ12-3

TEL: 0856-72-1506

E-mail: info@tsuwano-mm.org

